

平成30年度  
岩内あけぼの学園

# 事業報告書

社会福祉法人あけぼの福祉会

## 目 次

I. 利用者の状況	P3
1. 入退所状況	P3
①岩内あけぼの学園(施設入所支援)	P3
②岩内あけぼの学園(通所)	P3
2. 居室と担当職員の状況	P4～5
II. 職員の状況	P5
III. 見学・実習生の受入状況	P5
IV. 研修の状況	P6
1. 職場外研修の状況	P6～8
2. 職場内研修の状況	P8
V. 年間行事の実施状況	P8～9
VI. 生活支援の状況	P9
1. 各種スポーツ大会等の状況	P9
2. 社会生活活動の実施状況	P9
3. サークルとコンサート鑑賞の実施状況	P10
4. 避難訓練の実施状況	P10
5. 建物や設備の整備状況	P10
6. 生活棟(別棟)えみしあの運用について	P10
7. 通院や入院への対応について	P10
8. 身体機能を維持するための支援について	P10
9. 日帰り旅行の実施について	P10
10. 防犯への取り組みについて	P11
11. 広域避難訓練の実施について	P11
12. グループホーム ラフォーレの支援について	P11
13. 在宅(通所)利用者の支援について	P11
14. 記録管理システムについて	P11
15. 障がい者虐待防止法について	P11
16. 利用料収入と支援スタッフの確保について	P11
VII. 食事提供業務の状況	P11～12
VIII. 健康管理の実施状況	P12
1. 日常生活における予防及び衛生	P12
2. 住環境の清潔と感染性疾患の予防	P12
3. 日常の健康管理	P12
4. 健康診断の実施と各種検診の受診	P12
5. インフルエンザ罹患者への対応について	P12
IX. 苦情解決について	P13
X. 日中活動支援の状況	P13
1. 活動グループの状況	P13～14
2. 各活動グループの活動状況	P14
① 生活介護Ⅰグループ	P14
② 生活介護Ⅱグループ	P14～15
③ 生活介護Ⅲグループ	P15
④ 生活介護Ⅳグループ	P15～16
⑤ 生活介護Ⅴグループ	P16
⑥ 生活介護Ⅵグループ	P16～17

## I. 利用者の状況について

### 1. 入退所状況

#### ①. 岩内あけぼの学園、施設入所支援利用者動向

月	現員	施設入所支援状況		異動の状況
		入所	退所	
4	54			
5	54			
6	54			
7	54			
8	54			
9	54			
10	54			
11	53		1	B. Kさん(退所)
12	53			
1	53			
2	53			
3	53			
合計	643	0	1	

#### ②. 岩内あけぼの学園、通所日中活動利用者動向

月	現員	通所利用状況		異動の状況
		通所	退所	
4	12			
5	12			
6	12			
7	12			
8	12			
9	12			
10	12			
11	12			
12	12			
1	12			
2	12			
3	12			
合計	144	0	0	

2. 居室と担当職員の状況(平成31年3月31日現在)

① 施設入所支援サービス利用者

利用者名 (男性)	担当職員		利用者名 (女性)	担当職員	
	担当	副担当		担 当	副担当
K. Kさん	O. K	M. Y	S. Kさん	I. T	T. M
U. Kさん	O. K	Z. K	Y. Hさん	F. M	K. M
K. Hさん	H. S	T. D	H. Hさん	S. M	Y. A
M. Mさん	H. S	M. T	K. Sさん	S. M	M. A
K. Yさん	M. T	S. S	K. Kさん	F. I	N. N
M. Kさん	M. T	F. S	O. Rさん	F. I	S. E
I. Gさん	S. Y	H. S	I. Rさん	T. M	Y. A
M. Mさん	S. Y	T. Y	H. Eさん	T. M	F. M
I. Hさん	K. M	I. K	A. Tさん	F. M	S. M
T. Tさん	K. M	S. Y	N. Hさん	F. M	S. M
M. Sさん	N. S	T. D	E. Hさん	N. K	F. M
B. Kさん	N. S	O. K	T. Yさん	N. K	F. I
Y. Tさん	T. D	Z. K	K. Sさん	M. A	S. M
O. Sさん	T. D	S. S	S. Sさん	T. M	K. M
T. Tさん	F. S	I. K	T. Kさん	H. M	K. M
T. Mさん	M. Y	T. Y	K. Kさん	I. T	M. K
I. Kさん	M. Y	F. S	O. Tさん	I. T	K. M
T. Tさん	F. S	N. S	N. Yさん	K. M	T. M
W. Tさん	T. Y	M. Y	S. Mさん	M. A	E. T
S. Kさん	N. S	T. Y	I. Hさん	M. A	K. M
I. Zさん	K. M	I. K	W. Hさん	T. K	T. M
M. Tさん	I. K	M. T	K. Yさん	F. M	N. K
S. Hさん	S. S	K. M	T. Kさん	S. M	M. K
A. Sさん	S. S	O. K	K. Kさん	E. T	I. T
Y. Mさん	Z. K	S. Y	W. Aさん	A. M	T. M
T. Kさん	Z. K	S. Y	M. Tさん	A. M	K. M
N. Rさん	O. K	H. S	Y. Tさん	N. N	F. M

②通所部 (在宅日中活動サービス利用)

利用者名	担当窓口	副担当	利用者名	担当窓口	副担当
N. Tさん	H. S	Z. K	H. Yさん	K. M	T. Y
S. Kさん	T. D	S. Y	K. Kさん	O. K	F. S
A. Kさん	N. S	M. Y	N. Kさん	M. K	H. M
T. Kさん	S. Y	O. K	D. Hさん	K. M	F. I
M. Hさん	K. M	I. K	A. Tさん	T. K	K. M
K. Sさん	H. S	S. S	T. Mさん	K. M	H. M

※個人情報の取り扱いにご配慮くださいますようお願いいたします。

<利用区分>

	施設入所支援	合 計	備 考
施設入所支援 利用者	男性 26名 (24名) 女性 27名 (26名)	53名(50名)	・カッコ内は定員
在宅(通所)利用者	男性 8名 女性 4名	12名	

II. 職員の状況について

月	職員動向		異動の状況
	採用・異動	退職	
4	6		K. T、K. M、M. T、S. M(採用) K. T(異動) O. M(兼務)
5	2		T. A、T. I(採用)
6	1	2	O. E(採用)A. M、T. I(退職)
7		1	S. E(退職)
8		2	F. M、S. M(退職)
9	2		T. M、K. N(採用)
10	1	1	Y. Y(採用)Y. A(退職)
11			
12	1		M. A(採用)
1		1	K. S(退職)
2			
3		2	S. Y、K. T(退職)
合計	13	9	

III. 見学・実習生の受入状況

月	日	見学・実習生名
5	5/14~26	光塩学園女子短期大学実習生受け入れ(2名)
6	6/18~7/3	経専北海道保育専門学校実習生受け入れ(3名)
7	7/17~7/30	経専北海道保育専門学校実習生受け入れ(3名)
8	1	札幌養護学校施設見学
8	24	岩宇4町村特別支援学級交流会
9	4~5	後志総合振興局職員施設体験実習(4名)
12	4	岩内町東小学校交流会
12	12	岩内町西小学校交流会
12	28	岩内町社会福祉協議会施設見学
3	8	余市養護学校施設見学

## IV. 研修の状況

### 1. 職場外研修の実施状況

月	日	研修名	開催地	派遣職員
4	13	平成30年度 後志知的障がい福祉協会定期総会	小樽市	O. H, S. M
	26	岩内地方栄養士会定期総会、座談会	岩内町	K. Y
	26	自閉症援助技術研究会 初任者研修会	札幌市	O. K, S. S, Z. K M. A, N. N
	27	第1回支援研究委員会	小樽市	S. M
	30	平成30年度 後志知的障がい児・者家族会連合会定期総会	小樽市	O. K
5	15	北海道栄養士会後志支部総会・研修会	岩内町	K. Y
	16	岩宇地区自立支援協議会 平成30年度第1回相談支援事業担当者会議	岩内町	M. K
	21	一般社団法人 北海道知的障がい福祉協会 平成30年度 定時総会	札幌市	O. H
	21~22	一般社団法人 北海道知的障がい福祉協会 平成30年度 全道施設長セミナー	札幌市	O. H, S. M
	23	第2回支援研究委員会	小樽市	S. M
	27	2018年度北海道知的障がい児・者家族会連合会 研修会及び総会	札幌市	O. K
	28~29	平成30年度 北海道行動援護従事者養成研修	札幌市	Z. K
6	6	平成30年度 法定講習会	岩内町	K. M
	14	第3回支援研究委員会	小樽市	S. M
	20~21	平成30年度 北海道行動援護従事者養成研修	札幌市	Z. K
	22	管理職向けハラスメント防止セミナー	札幌市	M. K
	27~28	北海道強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修)	札幌市	N. N
	29	平成30年度第1回災害対策委員会	札幌市	O. H
7	2~3	平成30年度全国知的障害関係施設長等会議	東京都	O. H, T. H
	3~4	福祉専門職のためのキャリアアップ研修 (チームリーダーコース)	札幌市	M. T, F. M
	4	北海道栄養士会後志支部「すこやか北海道21」 ヤクルト協賛事業研修会	小樽市	K. Y
	4	平成30年度施設職員スキルアップ講座 新任職員編	札幌市	T. D, K. T
	13	第4回支援研究委員会	余市町	S. M
	18	岩宇地区自立支援協議会 平成30年度第2回相談支援事業担当者会議	岩内町	M. K
	23	平成30年度施設職員スキルアップ講座 中堅職員編	札幌市	S. M
31	障がい児親の会施設見学	黒松内町	M. T, O. K K. M, H. H	
8	3	余市養護学校 平成30年度 地域学習会	余市町	S. M, O. E
	7	放射線防護施設担当者研修会	岩内町	O. K, S. M
	7~9	平成30年度 障害者虐待防止・権利擁護指導者養成講座	札幌市	F. M
	8	平成30年度 権利擁護セミナー	札幌市	M. Y, A. M, T. A
	17	第5回支援研究委員会	古平町	S. M
	21~22	看護師専門研修	札幌市	S. R

	31	平成30年度 相談支援専門員・サービス管理者等 フォローアップ研修	岩内町	S. M
9	5	平成30年度第2回災害対策委員会	札幌市	O. H
	14	第6回支援研究委員会	黒松内町	S. M
	16	社会福祉士実習指導者講習会	札幌市	H. S
	18	平成30年度 障がい福祉サービス等初任者研修in後志	小樽市	K. S, K. Y
	19	岩宇地区自立支援協議会 平成30年度第3回相談支援事業担当者会議	岩内町	M. K
	23	社会福祉士実習指導者講習会	札幌市	H. S
	26	平成30年度第1回岩内町福祉・介護・医療・教育関係 機関原子力防災連絡会	岩内町	O. H, T. H
	28	平成30年度 後志知的障がい福祉協会 権利擁護研修	共和町	O. K, T. Y T. K, K. Y
10	3	平成30年度岩内保健所感染症講座	岩内町	S. R, O. E
	10	道央地方会合同会議	北広島市	S. M
	12	平成30年度指定障害福祉サービス事業者等に 対する集団指導の実施について	倶知安町	S. M
	12	平成30年度公益社団法人 北海道栄養士会福祉栄養士協議会秋期研修会	札幌市	K. Y
	17	平成30年度全道知的障がい関係職員研究大会	札幌市	T. M, N. S O. E
	19	第7回支援研究委員会	寿都町	S. M
	22	北海道原子力防災訓練、広域避難訓練	伊達市	M. K, M. Y, N. K O. E, K. Y
	23~24	父母会施設見学	札幌市	O. H, S. M O. K, M. T K. M, S. R F. I, N. N T. A
	26	2018年度第2回道家連役員会および研修会	札幌市	M. T
	26	希望の会	札幌市	S. M
11	1	岩内地方栄養士会研修会	岩内町	K. Y
	6	第8回支援研究委員会	仁木町	S. M
	6~7	福祉専門職のためのキャリアアップ研修 (チームリーダーコース)	札幌市	M. A
	15~16	全国社会福祉法人経営青年会 「第22回社会福祉法人経営青年会全国大会」	京都府	O. H, M. K
	20	年末調整等説明会	岩内町	N. S, T. M
	26	平成30年度 共済業務新任者研修会	札幌市	K. S
	28	平成30年度 加齢化支援研修会	札幌市	K. M, K. M
	10~11	平成30年度 北海道知的障がい関係支援員初任者 研修	札幌市	S. S, N. N
	14~15	平成30年度後志知的障がい福祉協会 職員研修会	小樽市	F. S, S. M
1	24	平成30年度 第2回 運営研究委員会	仁木町	O. H
	30~31	平成30年度 第7回障害者支援施設部会全国大会 (東北地区岩手大会)	岩手県	N. K, K. Y
2	2	強度行動障がいの最前線	札幌市	M. K, M. A T. D, S. S

	15	平成30年度札幌市知的障がい福祉協会職員研修会	札幌市	O. K, I. K K. N
	20	岩宇地区自立支援協議会 平成30年度第6回相談支援事業担当者会議	岩内町	M. K
	20	障害児親の会施設見学(前田の家)	共和町	O. K, I. T
	21~22	平成30年度 全道施設長研修会	札幌市	O. H, M. K
3	13	平成30年度 第3回 運営研究委員会	仁木町	O. H
	15~16	後志知的障がい福祉協会支援研究委員会	小樽市	S. M
	5	中山清司先生・五味洋一先生講演会	小樽市	O. H, M. K, M. A T. D, M. T, F. S S. S, N. K, K. Y K. N

## 2. 職場内研修の実施状況

月 日	テーマ	講師	参加人員
4/25	現代福祉の問題点から見る理想の福祉像とは	北海道ハイテクノロジー専門学校 こども保育学科 学科長 佐藤慶知氏	24名
5/25	身近な事故への対処法	岩内町消防署員、救急救命士	24名
10/11	(講演1)月形町の福祉推進事業について (講演2)子どもに対する支援の手立てと保護者 へのフォローについて	北海道月形町 町長 上坂隆一氏 医療法人社団一視同仁会 札幌すがた医院 作業療法士 中黒麗子氏	9名
11/12	ADHDとLDの基礎知識	社会福祉法人 麦の子会 地域支援部長(心理士) 金澤俊文氏	32名
11/27	防犯対策講習会 (不審者から身を守る方法を学ぶ)	北海道札幌方面岩内警察署 生活安全課 巡査部長 花岡志桜里他3名	26名
3/22	障がい者の権利擁護について(伝達研修)	岩内あけぼの学園 主任 F. M	22名
			合計 137名

## V. 年間行事の実施状況

月	日	行事名	月	日	行事名
4	2 26	開園記念日 ランチ会	8	28	ランチ会
5	14 31	胃がん検診 クリーンナップ&屋外バーベキュー	9	8 11 13 20 24 27	岩内町敬老会 日帰り旅行(小樽方面) 屋外バーベキュー 利用者健康診断 岩内町乳がん、子宮がん検診 日帰り旅行(洞爺湖方面)
6	25	ランチ会	10	21 22 30 31	利用者ボーリング大会 広域避難訓練 ランチ会 はばたけ会行事
7			11	4 17 19 28	ファイターズOB交流会 利用者ボーリング大会 ファイターズOB交流会 ランチ会

12	4	東小学校交流会	2	1	節分行事
	5	インフルエンザ予防接種		14	バレンタイン行事
	6	もちつき		25	コンビニ訪問販売
	12	西小学校交流会		26	ランチ会
	20	クリスマス会			
1	25	新年会	3	1	ひなまつり会
				7	利用者健康診断
				22	コンビニ訪問販売
				26	ランチ会

## VI. 生活支援の実施状況

### 1. 各種スポーツ大会等の状況

月 日	大会名	参加利用者、結 果	参加利 用者数
8/24	平成 30 年度後志知的障がい福祉協会 利用者パークゴルフ大会(余市町)	M. Mさん、 W. Tさん、I. Hさん T. Yさん	4 名
10/21	平成 30 回北海道障がい者ボウリング大 会(小樽市)	M. Mさん、W. Tさん、S. Mさん H. Hさん	4 名
11/17	平成 30 年度後志知的障がい福祉協会 利用者ボウリング大会(小樽市)	I. Kさん、 S. Hさん、K. Yさん T. Kさん	4 名

### 2. 社会生活活動について

余暇外出、プール、体育館での軽運動などそれぞれの目的にあわせて活動しており、平成 30 年度については以下を重点に支援した。

#### (1) 社会生活活動の内容について

- 余暇外出では、町内の販売店や飲食店を利用して買い物を楽しんだ。また、冬期間は感染症流行時期で、通院以外の外出を控えていたことから、コンビニエンスストアの訪問販売を利用して園内で買い物が行えるように支援した。体育館での軽運動は実施したが、プールサークルにおいて、今年度は日程の調整がつかず実施する事が出来なかった為、来年度は計画的に予定を立て実施する。
- 月2～3回程度で5～6人が集まり、ハンドメイドサークルを開催し、園内に展示する作品や編み物を行った。
- 利用者の方が活動に参加した際に、記録管理システム(クレヨン)へ確実に記録する事で、個別の参加状況を細かく把握できる様に取り組んだ。

### 3. サークル・コンサート鑑賞の実施状況

サークル・コンサート名	実施場所	実施日時	利用者登録	年間実施回数
ハンドメイドサークル	施設内	月2~3回程度	5~6名	25回
東京プラススタイル	岩内地方文化センター 大ホール	9/16(日)	4名	1回
みんなアート展展覧会	北海道立道民活動センター かでの2.7	9/21(金)	4名	1回
女声合唱団リラ 定期演奏会	岩内地方文化センター 大ホール	10/21(日)	7名	1回

### 4. 避難訓練の実施状況

月 日	訓練の種類	訓練の内容	利用者参加人数	年間実施回数
10/22	広域避難訓練	通報訓練・避難訓練	60名	4回
10/30	自主訓練、消火訓練	通報訓練・避難訓練・消火訓練	65名	
11/14	自主訓練、消火訓練	通報訓練・避難訓練・消火訓練	9名	
1/30	自主訓練	通報訓練・避難訓練	65名	

### 5. 建物や設備の整備について

- ア. 2018年度に年賀寄付金配分事業による助成金が決定し、ハイエース(10人乗りワゴン車)が7月31日に納車され、通所利用者の送迎や外出に使用した。
- イ. 11月6日にせっけん製造活動棟の取り壊しが終了し、その跡地に物置用ガレージを設置した。また、1月15日にグラウンドに公用車用ガレージが完成した。
- ウ. 11月28日に日本財団チャリティー自動販売機を屋外に設置した。

### 6. 生活棟(別棟)えみしあの運用について

平成30年2月1日から主に高齢者を中心とした生活棟(別棟)えみしあの運用を開始したが、若干利用者の方の入れ替えを行う中で高齢者に限らず、個々の特性に応じた利用者が生活できる環境とした。今後も見極めを行いながら運用を行うこととする。

### 7. 通院や入院への対応について

今年度は、男女合わせて7名の利用者が入院、症状によっては手術が必要となった。年々、入院に至るケースが増えてきており、町内の医療機関に受診した際も、診断によっては小樽市や札幌市の医療機関への再受診を行うケースが増えてきている。今後も通院や入院に至るケースが増えると思われることから、ご家族と連携を図り慎重に進めていく。

### 8. 身体機能を維持するための支援について

歩行訓練が必要な利用者の方の歩行状態を確認したり、歩行に付き添う職員の対応等について、作業療法士と支援ワーカーが会議や実技を通して協議を行った。また、リハビリ等が必要なケースについては通院へ同行し、今後も利用者の方の身体機能や生活状況を確認しながら、より専門的な支援が行えるように支援する。

### 9. 日帰り旅行の実施について

9月に利用者の希望を取りいれながら、2コースに分かれて日帰り旅行を実施した。例年通り保護者の参加も募り、短い時間ではあるが家族で楽しい思い出を作ることが出来た。

## 10.防犯への取り組みについて

11月27日、岩内警察署職員4名が来園し、職員への防犯講習会と実地指導を実施した。また、利用者の方には防犯に対する話をして頂いた。

## 11. 広域避難訓練の実施について

原子力災害における広域避難訓練を10月に実施した。法人として協定を締結している伊達市の太陽の園に利用者の代表7名と職員5名が参加し、更に岩内町の職員も同行して避難先の確認を行った。体調を崩す利用者の方もおらず無事に終了した。

## 12. グループホーム ラフォーレの支援について

施設入所支援から地域生活へと移行した利用者に対し、あけぼの学園として出来る限りのバックアップを行った。

## 13. 在宅(通所)利用者の支援について

通所時は検温等を実施し、健康状態の把握を行った。体調が優れない様子が見られた場合は、速やかに身元引受者へ連絡を行い、体調不良が悪化しないよう配慮した。また、ご家族の都合により自宅での生活が困難な場合は、短期入所の受け入れを可能な限り行った。

## 14. 記録管理システムについて

記録管理システムを活用し、利用者の方の日常生活の状況をきめ細かく把握し記録することを徹底し、そのデータを健康管理や個別ケース等の支援に活用した。

また、蓄積されたデータを活用しモニタリングやアセスメント(評価)を行ない、利用者の方の個別支援計画(ケアプラン)を策定した。

## 15. 障がい者虐待防止法について

障がい者虐待防止法を順守し、施設内における虐待防止委員会を毎月開催した。また、虐待防止に関わる研修会の定期的な開催と外部研修へ積極的に参加した。これについては、引き続き来年度も継続して取り組むこととする。

## 16. 利用料収入と支援スタッフの確保について

国や利用者から支払われる一般的な支援費のほか、重度障がい者支援加算や人員配置体制加算などを活用し、施設の収入財源を確保したうえで、国が定める一定の配置基準以上(今年度実績は利用者1.7名に対して支援スタッフ1名以上)の支援スタッフにより、利用者に対する日々の支援サービスを提供することが出来た。更に、夜間はあけぼの学園本体に職員3名、生活棟別棟(名称:えみしあ)にも夜勤職員1名を配置することで、夜間における支援の充実を図った。

## VII. 食事提供業務の状況

### 1. 選択食、希望食の実施

複数の料理からその場で好きなほうを選択する献立、メニューブックを参考にして自分の食べたい料理を自由にリクエストし、それを献立に反映させたリクエスト献立を行った。

### 2. 行事食、野外での食事会の実施

毎月のランチ会、開園記念日、新年会などの行事食のほか、野外での食事会(炭火でのバーベキュー)

を行った。

### 3. 特別食、エネルギー制限食の提供

腎臓疾患、糖尿病の利用者の方への特別食の提供、咀嚼、嚥下が困難である利用者の方への数種類に分けた刻み食の提供など、利用者の方の健康状態に合わせた食事の提供を行なった。

また、個人の年齢、体型、運動量、代謝量などを考え、通常の1.800kcalの食事のほか、若年層男女の2.000kcal、さらに1.600kcal、1.460kcalの食事提供区分を設定し、利用者の方の健康に配慮した。

## VIII. 健康管理の実施状況

### 1. 日常生活における予防及び衛生

- ①生活習慣として、うがい、手洗い及び手指消毒を行った。(洗面所や出入り口にはアルコール消毒液を常設した。)また、手拭用のタオルを用意し、一回毎一人一枚ずつ使いきるよう、更に感染時は紙ペーパーを使用することで、間接的な感染を防いだ。
- ②入浴時には全身の怪我や皮膚の状態を観察し、異常があれば迅速に対応するよう努めた。

### 2. 住環境の清潔と感染性疾患の予防

- ①毎日のトイレの消毒、又各月ごとに全館の消毒を行った。更に布団の滅菌、乾燥及びクリーニングを(5月と10月に)行った。
- ②ハセッパー水(除菌効果のある微酸性次亜塩素酸水)に対応した噴霧器を男女各棟、えみしあのDルームに設置することで感染症の予防に努め、併せて加湿器も設置し温度及び湿度の調整に心掛けた。

### 3. 日常の健康管理

- ①検温を毎朝測定し、異常のあるときは通院し、軽易の症状であれば常備薬で対応した。対応した状況については、看護記録に記載するとともに記録システムに詳細な記録をとった。
- ②全利用者さんを対象に月1回体重測定を行った。また、体重の推移を細かくチェックする必要がある利用者の方については、毎週体重測定を行った。
- ③50歳以上の方と高血圧、循環器症状のある方については、毎日血圧測定と血中酸素濃度を測定し、50歳以下の方に対しては、週1回血圧測定を実施した。数値が安定しない利用者の方に対しては健康管理委員会で話し合い、ケース会議で検討した。また、肥満防止のために、食事量の検討、ウォーキング、近隣の体育館を利用しての運動や体操などを定期的に行った。
- ④嚥下困難な利用者の方に対して「健口体操」を継続して行った。
- ⑤退勤時に男女各棟やえみしあを巡回し、利用者の方の健康状態をチェックした。
- ⑥インフルエンザの予防接種を行った。

### 4. 健康診断の実施と各種検診の受診

- ①施設で実施する年2回の健康診断の他、岩内町で実施する各種検診(胃癌、乳癌、婦人科検診)を受診し、早期発見に努めた。また、身元引受人の了解を頂き、血液検査による癌検診(血液マーカー検査)、便採取による大腸がん検診を実施した。
- ②町内の歯科医院で治療が可能な利用者の方については町内で治療を行った。また、町内での治療が困難な利用者の方については、北海道大学歯学部へ通院し治療を行なった。

### 5. インフルエンザ罹患患者への対応について

毎年心配されているインフルエンザであるが、今年度は利用者5名、職員5名が罹患した。速やかに感染症対策(食事を男女別、罹患者は個室に隔離など)を行い女子利用者、女子職員のための罹患で終息したが、次年度以降も対策や予防を徹底する。

## IX. 苦情解決について

今年度においても法人の苦情解決第三者委員の方に施設を訪問していただき、10月のはばたけ会に参加後、えみしあも含めた施設内の見学と12月のクリスマス会行事に参加し、利用者の方との交流を図っていただいた。身元引受人も含めた苦情が5件と要望が3件あり、内容についてはこれらの機会にあわせて報告を行った。

また、朝の朝礼や毎月行なう利用者自治会の会議の中で、利用者の方から何点か要望が聞かれ、軽微な要望であった為、これについてはその都度解決した。

## X. 日中活動支援の状況

日中活動区分	生活介護(入所)	生活介護(通所)	生活介護(合計)	サンライズ(通所)
人数	53名	12名	64名	1名

### 1. 日中活動グループの状況について(平成31年3月31日現在)

活動グループ名	平成30年度日中活動編成				在籍数	運営責任者
	利用者名					
生活介護	生活介護Ⅰ (いきいき)	I. Zさん	S. Kさん	N. Tさん	7名	○K. M I. T
		O. Rさん	T. Kさん	Y. Tさん		
		T. Mさん				
	生活介護Ⅱ (のびのび)	N. Rさん	M. Tさん	K. Yさん	14名	○T. M N. S O. K
		B. Kさん	T. Kさん	T. Mさん		
		K. Sさん	K. Sさん	K. Sさん		
		O. Tさん	K. Kさん	S. Kさん		
	生活介護Ⅲ (創作活動)	M. Sさん	Y. Tさん	I. Kさん	13名	○F. M M. Y Z. K
		T. Tさん	S. Hさん	H. Eさん		
		W. Aさん	W. Hさん	K. Kさん		
		N. Yさん	T. Yさん	E. Hさん		
	生活介護Ⅳ (個別支援)	K. Hさん	T. Tさん	A. Sさん	11名	○M. A N. K T. D S. S
		I. Hさん	M. Kさん	I. Gさん		
		O. Sさん	S. Kさん	S. Mさん		
		S. Sさん	H. Hさん			
	生活介護Ⅴ (しいたけ)	M. Mさん	M. Mさん	Y. Mさん	13名	○S. Y H. S A. M
		U. Kさん	M. Hさん	H. Yさん		
		A. Kさん	K. Kさん	A. Tさん		
		K. Yさん	I. Rさん	I. Hさん		
		N. Kさん				

生活介護 VI (エコ活動)	T. Tさん	W. Tさん	K. Kさん	7名	OM. T S. M
	T. Kさん	N. Hさん	K. Kさん		
	Y. Hさん				

※個人情報の取り扱いにご配慮くださいますようお願いいたします。

## 2. 各グループの活動状況について

### ①生活介護Ⅰ(いきいき)グループ

#### ○目標(重点目標)

- ①楽しんで活動に参加出来るように個々に応じた個別課題等を設定する。
- ②健康面に配慮しながら身体機能維持に向けたリハビリテーションを提供し、健康維持に努める。また、心身のリフレッシュが図れるよう、定期的に散歩やレクリエーションを取り入れる。

#### ○どの様な取り組みを行うか

- ①利用者の方が好む活動を提供する。
- ②検温と血圧を測定してから活動に参加する。また、活動中も利用者の方の健康状態に留意した上で活動内容を提供する。
- ③作業療法士と連携し、リハビリテーションを提供し身体機能維持に努める。
- ④レクリエーションを実施し、活動への意欲向上と気分転換に繋げる。

#### ○後期の取り組みに対する評価

- ①個別課題として洗濯バサミや醤油キャップを使用した指先運動の他、パズルや塗り絵、ビーズを使用した創作づくり等、個々の特性に合わせた活動内容を提供することで、意欲的に取り組むことが出来た。
- ②活動前に検温や血圧測定等を行ない、健康状態に留意した上で活動を行なうことで、大きく体調を崩す利用者の方は見られなかった。時折、利用者の方に変化(健康面)が見られた際は、看護師と連携を図りながら、対応することが出来た。
- ③作業療法士と連携し、散歩や身体機能維持に向けた運動を提供することで顕著な身体機能の低下は見られなかった。また、活動内容についても個々の特性を理解し、運動メニューの見極めや検討を行なうことが出来た。
- ④定期的にドライブや町民体育館での軽運動、音楽に合わせた踊りなど、レクリエーションを行なうことで、気分転換を図ると共に活動への意欲向上に繋げることが出来た。

### ②生活介護Ⅱ(のびのび)グループ

#### ○目標(重点目標)

- ①個別的な関りを保ちながら、個々の特性に応じた活動内容を設定し、利用者の方が楽しんで取り組める活動内容を提供する。
- ②身体機能や健康維持に向けたリハビリテーションの提供の他、心身のリフレッシュが図れるよう、定期的にレクリエーションを提供し、心身の安定を図り、充実した生活を送る。

#### ○どの様な取り組みを行うか

- ①利用者の方の趣向に合わせた活動を提供する。
- ②使用者の方の心身の状態に把握した上で活動内容を提供する。
- ③作業療法士と連携を図り、園内歩行や指先を使用した活動を提供し、身体機能や健康維持に向けた活動を提供する。
- ④ストレスの軽減と活動意欲の向上に繋がるよう、定期的にレクリエーションの機会を設ける。

○後期の取り組みに対する評価

- ①利用者の方の特性に合わせた活動内容(編み物やパズル、知育玩具等)を提供することで、意欲的に取り組むことが出来た。
- ②心身の状態を把握した上で活動を提供しており、体調不良になる利用者の方は見られなかった。
- ③作業療法士と連携を図り、身体機能維持運動や園内歩行、指先を使用した個別課題の他、2月からは健口体操を取り入れることで、著しく身体機能が低下することはなかった。今後においても身体機能を維持できる活動内容の見直しや見極めを行なう必要がある。
- ④2月に多目的ホールで昼食を兼ねたレクリエーション(ケンタッキーフライドチキン)を実施しており、気分転換を図ることが出来た。

**③生活介護Ⅲ(創作活動)グループ**

○目標(重点目標)

- ①楽しんで活動に参加出来るように個々に応じた創作活動を設定する。
- ②散歩や歩行訓練などの身体を動かす活動を取り入れ、身体機能の維持とストレス軽減・健康維持に努める。

○どのような取り組みを行なうか

- ①個々の能力や興味がある事、季節に応じた創作活動内容を設定する。また、完成品を父母会等での配布や園内で展示することで、活動意欲の向上に繋げる。
- ②散歩や軽運動を取り入れ、健康維持に努める。
- ③レクリエーションを実施することで、心身のリフレッシュを図る。

○後期の取り組みに対する評価

- ①行事や季節に応じた作品づくり等、利用者の方の希望や個々の特性に寄り添うことで、楽しく且つ集中して取り組む事が出来た。また、完成品を園内で掲示することで、意欲向上に繋げる事が出来た。その他、シュシュやアクリルたわし等の創作物については、父母会で配布し、取り組み内容の理解に努めることが出来た。
- ②悪天候や創作物の制作を中心に取り組んでいた為、数回のみの実施となり、来年度においては、実施回数を増やし、体力や健康維持に努める必要がある。
- ③10月と3月に昼食を兼ねたレクリエーションを実施しており、気分転換を図ることが出来た。

**④生活介護Ⅳ(個別支援)グループ**

○目標(重点目標)

- ①TEACCHプログラムの理念を取り入れた支援を提供しながら見通しの持てる活動を提供する。

○どのような取り組みを行なうか

- ①個別課題を定期的に更新する。また、一人一人の特性や状態に合わせ、個別でのスケジュールの提示や活動を提供する。
- ②固執の変化に合わせ生活場面と連携を図り対応する。
- ③レクリエーションを実施し、気分転換を図る。

○後期の取り組みに対する評価

- ①個々の特性に合わせた課題を定期的に更新し、提供することで継続的且つ意欲的に取り組むことが出来た。
- ②生活場面と日中活動中の状況を共有し、支援方法や対応等を統一することで、混乱や不適応行動を最

小限に留めることが出来た。今後においても生活場面と連携を図り、落ち着いて生活を送れる様、統一した支援が必要である。

③活動棟内で昼食を兼ねたレクリエーションを実施しており、調理工程(お好み焼き)も体験しながら気分転換を図ることが出来た。

## ⑤生活介護V(しいたけ活動)グループ

### ○目標(重点目標)

- ①椎茸の品質の安定及び、委託販売店に安定した供給ができるように、計画的な生産量の確保に努める。
- ②活動メニューを個々の利用者の方に設定し、椎茸の栽培を通して活動に対する意識を養う。また、活動に対する基本的な動作が身に付けられるように支援する。
- ③軽運動やレクリエーション活動を取り入れ、健康増進と心身のリフレッシュに努める。

### ○どの様な取り組みを行うか

- ①ビニールハウス内の温度や湿度をしいたけの発生に適した状態に設定できるよう努める。また、ほだ木の管理についても散水等を適宜に行ない、安定した生産量の確保に繋げる。
- ②椎茸の栽培に関わる活動を分担し、個々の特性に応じた活動内容を提供することで活動に対する意識を高める。また、活動内容を明確にし、混乱なく且つ自発的に活動へ参加できる様、活動を提供する。
- ③散歩等の運動やレクリエーション活動を適宜に行ない、健康の増進と気分転換を図る。

### ○後期の取り組みに対する評価

- ①ビニールハウス内の温度や湿度に関しては、概ね出来ていたが、活動日の減少や利用者の方の負担等を考慮し、安定した収穫までは至らなかった。
- ②ホダ木の運搬や椎茸採取を中心に行なっており、個々の活動内容を明確にすることで、自発的に活動に参加することが出来ている。しかし、個々の特性や体力面を考慮し、補助業務が増加していることや怪我等の安全面にも配慮し、職員の介助や見守りが増えてきているため、来年度においては、利用者の方に無理のない範囲で、ほだ木の本数や活動日数の検討が必要である。
- ③11月(ニセコ町)と3月(施設内)に昼食を兼ねたレクリエーションを実施しており、両レクリエーションともに、利用者の方が満足された様子が伺え、心身のリフレッシュに繋げることが出来た。

## ⑥生活介護VI(エコ活動)グループ

### ○目標(重点目標)

- ①個々に特性に合った活動内容を提供する。
- ②安定して活動に参加出来るよう、身のリフレッシュに向けた活動を提供する。
- ③定期的にレクリエーションを提供し、心身の安定を図り、充実した生活を送る。

### ○どの様な取り組みを行うか

- ①個別的な関りを保ちながら、個々の特性に応じた活動内容を設定し、利用者の方が集中して取り組める活動内容を提供する。
- ②利用者の方が希望する散歩やドライブ等の提供の他、活動終了前にお茶会を実施し、心身のリフレッシュを図る。
- ③定期的にレクリエーションを実施し活動意欲の向上に繋げる。

### ○後期の取り組みに対する評価

- ①特性に合った活動(はさみの活用や仕分け等)を提供することでスムーズに取り組むことが出来た。また、個々の活動スペースを用意することで集中して取り組む時間が増えてきている為、今後においても活動

内容の見直しや環境の構造化を行なう必要がある。

- ②インフルエンザ流行時期以外は、定期的にドライブに出掛けるなど、気分転換を図ることが出来た。また、活動後のお茶会は楽しみの一つでもあり、参加意欲に繋げることが出来た。しかし、活動の中止や休みが続いたことで、拒否や欠席する利用者の方には、無理のない範囲で園内歩行を実施した。
- ③2月に昼食を兼ねたレクリエーションを実施しており、活動意欲の向上に繋げることが出来た。